

「ワールドキャラバン」
令和7年度国際理解教育講師等派遣事業実施要領
(高等学校(中等教育学校後期課程を含む)及び特別支援学校高等部対象)

1 目 的

国際交流や国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、必要となる外国人等講師や国際理解教育を企画するコーディネーターを派遣することにより、児童・生徒が外国人と直接対話する機会を積極的に設定したり、開発教育のワークショップ等を通じて、将来、国際社会で活躍することのできる人材の育成を図る。

2 事業主体

茨城県国際理解教育推進協議会／公益財団法人茨城県国際交流協会

3 派遣内容

(1) 派遣先

茨城県内の高等学校(中等教育学校後期課程を含む)及び特別支援学校高等部

※申請団体から希望があれば、オンラインを使った交流も実施可能とする。

(2) 1回あたりの活動時間

1回(1日)の派遣における講師およびファシリテーターの活動時間は、最長で2時間程度とする。

(3) 派遣できる講師等

I 外国人講師

区 分	説 明	日本語力
留学生	(公財)茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、県内の大学や高校に在学する留学生	○
在住外国人	(公財)茨城県国際交流協会に登録の各国事情紹介講師等、県内在住外国人	○
	県の国際交流員(CIR)	○
	外国語指導助手(ALT)	△

II 日本人講師

- ① 参加型学習を実施するファシリテーター(異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲームやロールプレイなどを実施)
- ② 県内のNGO等国際交流協力活動実践者及び海外活動経験者
- ③ JICA海外協力隊及びJICA派遣専門家等

III プログラムの企画調整をするコーディネーター(日本人)

【役割】

- ・国際理解教育で何をするか、実施内容についての相談に応じる。
- ・外国人講師との連絡・調整をする。
- ・当日の進行役をする。

(4) 活用例(※クラス単位等少人数での企画が効果的です)

- ① 道徳の授業等で、外国人留学生とともに昨今の社会問題について、留学生の出身国・地域の状況も踏まえながら話しあう。
- ② 地理歴史・公民等の授業に外国人留学生を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、国際理解促進の一助とする。
- ③ 総合的な学習の時間でJICA海外協力隊の経験者や在住外国人等を講師として招き、国際協力活動や自国の文化に関する講演を行ってもらい、国際理解や国際貢献の重要性を知る。
- ④ 文化祭等で、大学の役割等について留学生とのパネルトーク、講演会、民族舞踊の披露等を行う。
- ⑤ その他国際理解教育に関する内容。

4 事業経費

- (1) 講師及びコーディネーターの謝金・交通費は、以下に示す当協議会の算定基準を基に、原則として学校が負担する。
- * 予算に限度がある場合や、負担できない場合は、講師2名を限度として、1回に限り謝金・交通費を（公財）茨城県国際交流協会が負担することができる。
 - * コーディネーターが事前打ち合わせを学校でする場合、謝金は不要。ただし交通費及び保険については学校が負担する。

国際理解教育講師等派遣事業標準報酬額表

種 別	報酬額
講師, ファシリテーター	5,000 円／人
コーディネーター	5,000 円／人

茨城県国際理解教育推進協議会交通費換算表

交通機関	算定基礎	備 考
鉄道・バスなどの公共交通機関	実質運賃	特急等料金は含まない
自家用車等	1 km 当たり 28 円換算	高速料金は含まない

* 報酬等については、所得税がかかります。納税額、納税方法等の詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせください。

- (2) 公共交通機関の最寄駅までの講師の送迎は学校の負担で行う。
- (3) その他の経費（調理実習等の材料費、講師及びコーディネーターの昼食費（給食費）、交流会費、学校から講座開催地までの交通費等実費）は、学校が負担する。

5 申し込み手続き及び報告書等

- (1) 派遣を希望する学校は、派遣申請書（様式2）1部を募集期間内に協議会事務局まで提出する。
- 募集期間 令和7年4月1日～令和7年6月30日（必着）
- （事業実施期間 令和7年9月1日～令和8年2月28日）
- ※申請団体が全額費用負担できる場合、通年で募集を受付けます。ただし、講師出身国・地域や内容に具体的な希望がある場合、調整に1か月程度かかる場合がありますので、早めにお問合せください。
- (2) 協議会は、締め切り後60日以内に派遣決定の可否を学校に通知する。
- (3) 協議会は、事業実施日の20日前までに派遣内容（派遣講師の詳細等）を学校に通知する。
- (4) 派遣を受けた学校は、事業終了後2週間以内に以下のものを提出する。
- ① 事業報告書（様式5）
 - ② 写真（データ形式）2～3枚
 - ③ 支払いに関する受領書または振込証明等のコピー

6 派遣校の選定について

- (1) 派遣経費を学校が負担する場合は優先的に派遣する。
- (2) 派遣経費を一部または全額負担できない場合は、当事業の予算の範囲内で派遣内容及び派遣の有無を決定する。
- (3) 派遣校の選定は、国際理解教育推進協議会が行う。
- (4) 選定基準は別に定める。

【申請書の提出先】

茨城県国際理解教育推進協議会事務局（公益財団法人茨城県国際交流協会内）
〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階
TEL：029-241-1611 FAX：029-241-7611
協会ホームページ <http://www.ia-ibaraki.or.jp/>
多文化共生サポーターバンク http://www.ia-ibaraki.or.jp/s_bank/

(様式2－高等学校(中等教育学校後期課程を含む)、特別支援学校高等部用)

ワールドキャラバン

国際理解教育講師等派遣申請書

令和 年 月 日

茨城県国際理解教育推進協議会
会 長 根本 博文 殿

学校名

学校長名

下記により、国際理解教育を実施したいので、国際理解教育講師等派遣事業募集要領に基づき、講師等の派遣を申請します。

I 派遣申請者の情報

所在地 〒			
担当者名		送迎のための最寄りの駅：	
TEL		FAX	
E-mail		連絡のつきやすい時間帯	
貴校でのワールドキャラバンの実施経験	☐ なし ☐ あり (実施年度	計	回)
ワールドキャラバン以外の国際理解教育	☐ なし ☐ あり 実施回数	計	回

II 希望する派遣内容(ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。)

1. 日 時	第1希望 月 日 () 時 分～ 時 分 第2希望 月 日 () 時 分～ 時 分 第3希望 月 日 () 時 分～ 時 分 その他実施が可能な月・曜日 (月 曜日) ※実質滞在時間を記入してください。 ※1月は混みあいますのでなるべく避けて下さいますようお願い致します。
2. 実施場所	☐ 教室 ☐ 体育館 ☐ その他()
3. 実施形式	☐ 講演形式 ☐ グループワーク ☐ 交流会 ☐ その他 ()
4. 参加者	年生 人(クラス) / 年生 人(クラス) 職員 人 / 保護者 人 / その他 () 人 ※ 全学年を対象にするなど参加者が多すぎると効果的なプログラムが組めない可能性があります。参加者の規模が過大にならないようお願い致します。
5. 実施目的	
6. 希望する活動内容	(現時点で決まっている範囲で結構ですので具体的に記入してください。)

裏面の記入もお願いします。

III 派遣を希望する講師等を「実施要領3（3）派遣できる講師等」によりご記入ください（ご希望に添えないこともございますのでご了承ください）。

[illegible]

IV 事業費（謝金・交通費）の負担について、「実施要領4 事業経費」をご参照のうえご記入ください。

1. 事業費の負担	当該事業費を全額負担できる学校については原則として講師の派遣を行います。なお、調理実習等の材料費、講師及びコーディネーターの昼食費（給食費）、交流会費、学校から講座開催地までの交通費等実費は、学校の負担となります。下記には含まれません。 ☐ 学校で全額負担できる ☐ 学校で一部負担できる 上限（ ）円 ☐ 学校で負担できない
2. 事業費の支払い方法	事業費の全額または一部を負担頂く場合の支払い方法 ☐ 当日に現金で支払う ☐ 後日銀行振込みで支払う

V 保険(傷害保険)の加入について

派遣する講師、コーディネーターの保険につきましては（公財）茨城県国際交流協会にて加入しております。その他、参加者の万が一の事故等につきましては責任を負いかねますので、貴校にて手続きを行っていただけますようお願い申し上げます。

VI その他の注意事項

- (1) 派遣される講師について最寄りの駅までの送迎をお願い致します。
- (2) ワールドキャラバンの実施後2週間以内に以下のものを提出して下さい。
 - ① 事業報告書（様式5）
 - ② 写真（データ形式）2～3枚
 - ③ 支払いに関する受領書または振込証明等のコピー
- (3) 報告書とともに送っていただいた写真については当協会の記録用として印刷物などに掲載される可能性がありますのでご了承下さい。

茨城県国際理解教育推進協議会

会 長 根本 博文 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 _____ 担当教諭名 _____

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	令和 年 月 日 () : ~ :																		
対象学年と人数																			
派遣講師名と出身国																			
活動の内容																			
今回実施されたワールドキャラバンについて評価 Q1～Q3 それぞれ一つ選んでください。	Q1. この事業を知ったきっかけ <table><tr><td>☐ ① 当協会の掲示、報告書、通知文など</td><td>☐ ④ 新聞・広報誌</td></tr><tr><td>☐ ② 当協会のホームページ</td><td>☐ ⑤ Facebook 等の SNS</td></tr><tr><td>☐ ③ 友人・知人の紹介</td><td>☐ ⑥ その他()</td></tr></table> 理由: Q2. 交流について <table><tr><td>☐ ① 大変よく交流できた</td><td>☐ ④ あまり交流できなかった</td></tr><tr><td>☐ ② 交流できた</td><td>☐ ⑤ 全く交流できなかった</td></tr><tr><td>☐ ③ 普通</td><td></td></tr></table> 理由: Q3. 事業の満足度 <table><tr><td>☐ ① 大変満足した</td><td>☐ ④ やや不満だ</td></tr><tr><td>☐ ② 満足した</td><td>☐ ⑤ 不満だ</td></tr><tr><td>☐ ③ 普通</td><td></td></tr></table> 理由: Q4. 事業に参加しての意見・感想 ①生徒・保護者等参加者の感想	☐ ① 当協会の掲示、報告書、通知文など	☐ ④ 新聞・広報誌	☐ ② 当協会のホームページ	☐ ⑤ Facebook 等の SNS	☐ ③ 友人・知人の紹介	☐ ⑥ その他()	☐ ① 大変よく交流できた	☐ ④ あまり交流できなかった	☐ ② 交流できた	☐ ⑤ 全く交流できなかった	☐ ③ 普通		☐ ① 大変満足した	☐ ④ やや不満だ	☐ ② 満足した	☐ ⑤ 不満だ	☐ ③ 普通	
☐ ① 当協会の掲示、報告書、通知文など	☐ ④ 新聞・広報誌																		
☐ ② 当協会のホームページ	☐ ⑤ Facebook 等の SNS																		
☐ ③ 友人・知人の紹介	☐ ⑥ その他()																		
☐ ① 大変よく交流できた	☐ ④ あまり交流できなかった																		
☐ ② 交流できた	☐ ⑤ 全く交流できなかった																		
☐ ③ 普通																			
☐ ① 大変満足した	☐ ④ やや不満だ																		
☐ ② 満足した	☐ ⑤ 不満だ																		
☐ ③ 普通																			

	②先生の感想
--	--------

提出物：

- ① 当該報告書
- ② 事業の様子分かる写真 2~3 枚（JPEG 形式で、WORD 等に貼り付けないこと）
- ③ 支払いに関する受領書または振込証明等のコピー

※ご提供いただいた写真は協会の記録用として印刷物などに掲載される可能性があります。

あらかじめご了承ください。

提出方法：次のいずれかで提出願います。

1. 報告書および事業の様子分かる写真 2~3 枚をメールに添付して送る。メールアドレスは、worldcaravan@ia-ibaraki.or.jp です。写真サイズが大きい場合、2 回に分けてお送りください。メール受信後、開封確認メールを送ります。
2. 報告書および事業の様子分かる写真データを CD-ROM に保存し、下記宛に送る。
〒310-0851 水戸市千波町後川 745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 2 階
茨城県国際理解教育推進協議会事務局（公益財団法人茨城県国際交流協会内）宛

茨城県国際理解教育推進協議会

会 長 根本 博文 殿

(記入例) ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ××高等学校 担当教諭名 ×× ××

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	令和××年××月××日(×) 10:30 ~ 12:30
対象学年と人数	2年生 40名
派遣講師名と出身国	〇〇〇・△△△(オーストラリア)
活動の内容	オーストラリアの国勢、文化、地理、自然、動物、国旗など多岐にわたる情報について視覚的に見たり話を聞く 質問タイム オーストラリア英語とアメリカ英語の違いについて学ぶ
今回実施されたワールドキャラバンについて評価 Q1~Q3 それぞれ一つ選んでください。	Q1. この事業を知ったきっかけ ☐ ① 当協会の掲示、報告書、通知文など ☐ ④ 新聞・広報誌 ☒ ② 当協会のホームページ ☐ ⑤ Facebook等のSNS ☐ ③ 友人・知人の紹介 ☐ ⑥ その他() 理由: 以前実施した際、国際交流をする良い機会と感じたから。 Q2. 交流について ☒ ① 大変よく交流できた ☐ ④ あまり交流できなかった ☐ ② 交流できた ☐ ⑤ 全く交流できなかった ☐ ③ 普通 理由: 直接、外国の方や外国の文化と触れ合うことができ、有意義でした。 Q3. 事業の満足度 ☒ ① 大変満足した ☐ ④ やや不満だ ☐ ② 満足した ☐ ⑤ 不満だ ☐ ③ 普通 理由: 複数回行うことで、さまざまな国の方と交流を持てたことは、生徒達にとっても貴重な経験になったと思います。 Q4. 事業に参加しての意見・感想 ①生徒・保護者等参加者の感想 オゾン層の破壊により紫外線が強く、子どもたちが帽子をかぶらなければならないことを知った。環境問題にもっと関心を持たなければならないと感じた。(生徒) 英語の略語は頭文字をとることだけだと思っていたが、オーストラリアのスラングでは、日本語のような言葉を短くする略語があると聞いて、ビックリした。もっとオーストラリアのことについて調べたいと思った。(生徒) 知らなかったこと、知りたかったことについて、今日の話で解決しました。実際に住んでいなきゃわからないことばかりで直接話を聞けて、本当にためになりました。(生徒)

	②先生の感想 日本語と英語をバランスよく使っていただいた説明は内容も充実していることは言うまでもなく、何より生徒にとって英語を聞く力を高める瞬間に満ちておりました。明瞭な説明なので生徒もよく理解できていたようです。(担当教諭)
--	---

提出物：

- ① 当該報告書
- ② 事業の様子の分かる写真 2~3 枚（JPEG 形式で、WORD 等に貼り付けないこと）
- ③ 支払いに関する受領書または振込証明等のコピー

※ご提供いただいた写真は協会の記録用として印刷物などに掲載される可能性があります。

あらかじめご了承ください。